

通番	意見要旨	対応方針（案）
1	全体として、どれも大事な課題であり、具体策をどのようにしていくかが、大切だと思う。	「Ⅳ. 実施計画」において、計画後期の展開として、取り組むべき方向性について示しており、推進していきます。
2	市職員の学習は大事である。それは、担当課だけが考えればいいというわけではなく、各分野で住民の自主的な活動に補助をしている事業は多数あると思う。また、ボランティア養成講座を実施している課もあると思うが、その養成と修了後の活動を支援する人が必要である。そういう意味では、全職員が市民活動について学ぶことが必要だと思う。	改定計画においても、市民と行政と一緒に学ぶ場の必要性について記載しており、実施計画 2-4 ③、4-2 ③「地域の課題を学ぶ機会の充実」において推進していきます。
3	各課で養成したボランティア団体の活動立ち上げ後の支援を、職員が異動しても維持できるような仕組みが必要である。	2-4 ①「組織運営・事業実践に係る力量の向上に向けた学びの機会の提供」、②「団体の活動ステージに合わせた学びの機会の提供」において対応していきます。
4	計画で示している市民活動のステージは、目的に向かって進む健全な団体を想定したものであり、目的を見失ったり、目的に進めなくなったまま安定期に入ってしまった団体もある。そういった団体が、目的意識を持って活動できるようにする支援も必要である。	目的を見失ったり、目的に進めなくなったまま安定期に入ってしまった団体も、実施計画 2-4 ①「組織運営・事業実践に係る力量の向上に向けた学びの機会の提供」において、支援可能であると考えております。
5	団体を構成する人にもいろいろな人がいるので、市民活動の基礎、市民活動の心得を習得できる支援があるといいと思う。	実施計画 2-4 ①「組織運営・事業実践に係る力量の向上に向けた学びの機会の提供」及び 2-4 ②「団体の活動ステージに合わせた学びの機会の提供」において、支援を行っていきます。
6	「Ⅲ. 後期計画推進に向けた新たな方向性」の初めの文章がわかりづらいので、簡潔にした方がよいと思う。	全体についてわかりやすい表現にします。
7	P. 7「1 市民活動に参加してもらう環境の創出」で、魅力よりも、悩み課題の方が先に書いてあり、文章も多いのは悲しい。	ご指摘のとおりであり、文章を変更しました。

8	P. 7「1 市民活動に参加してもらう環境の創出」で、循環を作ることによって固定化・高齢化への対応はできそうだが、若い層に特化した創出も考えないといけないと思う。	子育て世代、在学、在勤者もターゲットとしたものであると考えており、その考えを反映しています。
9	P. 7 1-1「当事者性がある」という表現がわかりづらい。	全体についてわかりやすい表現にします。
10	P. 7 1-2 第一文「～できます。」は言い過ぎではないか。	ご指摘のとおりであり、文章を変更しました。
11	P. 7 1-2の対象が、すでに何らかの形で活動している人たちしか想定されていない。活動への第一歩が一番ハードルが高いので、特に地域とのつながりが薄い人を呼び込む支援がよいと思う。	ご指摘のとおりであり、文章を変更しました。
12	P. 7 1-2について、「循環づくり」と書いてあるので、「魅力の発信」を受けた人が、次の「魅力」になって発信されるということが読み取れるように書いた方がよいと思う。	「魅力発信により参加につなげる循環づくり」を「魅力発信により参加につなげる仕掛け」という表現に、文章を変更しました。
13	P. 7 1-2既に活動している人の魅力を発信するとなっているが、活動していない人にも潜在的な魅力がある。仕事として当たり前に行っていることも他人から見たら面白いと思う。 また、インターネットを通じて活動している方もいる。	ご意見として承ります。
14	P. 8 2-1 コーディネーターについて、社会から重要性が指摘されて、計画に盛り込むなら分かるが、本計画の実施計画に指摘されて計画に盛り込むという表現には違和感がある。また、現計画では「コーディネーターを育成します。」程度の書き込みで、重要性を指摘とまでは言えないのではないか。	ご指摘のとおりであり、文章を変更しました。

15	P. 8 2-3 「コーディネーターに求められる力量」は、力量ではなく能力ではないのか。	力量は、能力の大きさや幅を示すものであり、学びなどにより、高めることができるという考え方から、本計画においては、力量という表現を使用しています。
16	P. 8 2-3 「コーディネーターに求められる力量」として「やる気にさせる能力」は必要ないか。	求められる力量としてあげている、コミュニケーション力や、調整力に「やる気にさせる力」も含まれていると考えており、新たに記載しました。
17	P. 9 2-4 「コーディネート機能を生かす仕組み」となっているが、記載されていることは、仕組みではないと思う。内容については、何書くかももう一度検討されてはいいかがか。	ご指摘のとおりであり、文章を変更しました。
18	P. 2 1-2 「多様な活動につながる情報の提供」について。広報は受け手があることで大変だと思う。市報は読まない、小学校の全戸配布プリントも見ないという人はたくさんいる。広報については市ももっと研究した方がよいと思う。また、P. 3 2-1 「情報発信は行われており」と記載してあるが、情報は発信するのが目的なのか、伝えるのが目的なのか。伝えるのが目的であれば、伝わっていなければ、発信していないのと等価である。是非伝わる広報をしてほしい。	1-2. 多様な活動につながる情報の提供の委員会による評価でも記載しているとおりに、市が行っている、ツイッターやフェイスブックについて、その効果や有効性について、検証していき、より良い情報提供を行っていきます。
19	P. 3 2-2 「周知する必要がある」とあるが、いつまでにどれだけの人に知らればよいのか。	市民活動団体の成熟により、相談件数が少なくなっているという側面もあると考えておりますが、引き続き、相談窓口のPR及び相談しやすい環境づくりを行っていきます。
20	P. 4 2-5 「交流することが目的ではなく」というのはその通りだと思う。交流による実りを何らかの形にするとよいと思う。	実施計画 2-5 「交流の促進」により、市民活動団体同士の情報の交換・共有や異なるセクターとの交流を推進することにより、地域の活性化を促していきます。

<p>21</p>	<p>P. 6 4-2 「いつも同じ市民が・・・」というのはその通りだと思う。行政の文章でよく地域参加と書かれているが、実際は、地域の特定の人しか参加していない。市も充て職などで、いつもの人にならないよう注意する必要があると思う。</p>	<p>実施計画1「市民活動の裾野の拡大」において、市民活動の参加につながる施策を実施していきます。</p>
<p>22</p>	<p>さまざまな分野の市民活動の促進や推進の支援は、プレイスの大きな役割だと思うが、コミュニティ方式をとった武蔵野市では、もう一つの、コミュニティ協議会が担う地域を包括的に扱うコミュニティ活動をどう位置づけるか、個別の市民活動を、究極は住んでいる地域をより暮らしやすくしていくために、地域コミュニティ活動とどうつなぐかが大きな課題だと思う。</p>	<p>本改定計画では、現計画では触れていなかった、地域コミュニティにおけるコーディネート機能の必要性や、テーマ型市民活動と地域型市民活動の連携の必要性について記載しております。</p>
<p>23</p>	<p>学びについて、地域が求めているのは、会計や組織運営、広報などの実務というよりは、地域や暮らしをどう見るか（判断）課題発見の方法、課題共有の方法などではないか。</p>	<p>実施計画 2-4③、4-2③「地域の課題を学ぶ機会の充実」において地域の課題などを学ぶとともに、組織運営力も合わせて高めていくことが地域の市民活動の活性化につながると考えております。</p>
<p>24</p>	<p>連携と協働に向けた市内体制の構築は、行政が考えている以上に必要なことで、地域と行政間のすれ違いによってもめるのは、その地域に対する行政の認識不足が引き起こしているケースがほとんどである。</p>	<p>実施計画の4-2.において、「連携と協働」の意識の共有や地域の課題を学ぶ機会の充実などを示しており、更なる「連携と協働」を推進していきます。</p>
<p>25</p>	<p>もう、市民活動に参加して<u>もらう</u>のは止めませんか。行政の下請けで活動するだけだと発展がありません。地域は行政が気に入らない方行に進むこともあります。活動を進めるにあたって仲間をふやしたいなら、活動の意味を回りに伝えるしかありません。そのことこそ、市民活動の最大の意義だと思います。欲しいのは説得のための資料提供、手法のコーチで、これは必要な環境づくりです。もちろん、地域住民がつながっていると感じられる心地よい場としてのコミュニティセンターは大事です。</p>	<p>ご指摘のとおりであり、文章を変更しました。</p>

<p>26</p>	<p>コーディネーターに求められる力量は理解ができるが、こういったコーディネーターはどこから生まれるのか。地域のコミュニティ協議会にコーディネート力がある、あるいは何かあったら行って言ってみようと思わせるのは、その地域で以前解決すべき問題にコミュニティ協議会が真剣に取り組んだという地域の記憶だと思えます。ただコーディネーターという個である必要があるのか。その意味でも2-4(9P) ①②は注目されるべきです。地域コーディネート力は、協議会として経験を重ね、情報を蓄積している総体から生まれて初めて力を持つのではないのでしょうか。</p>	<p>特定の人をコーディネーターとして配置するという考えではないため、必ずしも特定の人や組織がすべての力量を備えているということではなく、複数の人や組織が協力して全体としてコーディネート機能を発揮していくことが必要であると考えています。</p>
<p>27</p>	<p>コミュニティ構想のもののコミュニティは、偉い人をつくらない みんなが個を持ちつつ、自分の得意分野を提供して、補いあって協議会総体として何かをするというあり方を経験的に作り上げてきたと思う。総体、みんなが共有するための必須の手段として、話し合う、少数意見も聞く、記録する(意見と結論の過程をトレースできる)、共有するということを大事にしてきた。③の全市的立場や地域を超えたネットワークのもとに活動するコーディネーターになりうる人材の発掘及び育成方法を検討・実施するという存在そのものがあり得るのか</p>	<p>リーダーとして上に立ってコーディネートするというものでなく、各地域の活動を支援する形での役割を考えています。また、そういった人材を配置するのではなく、市やプレイス、市民社協がそういった機能を発揮できるようにすることが必要であると考えています。</p>
<p>28</p>	<p>「地域フォーラム」をやってみて可能性があると思った。さらにフォーラムという場への行政職員の参加に意味があると思った。(行政がPRする場にしないで、あくまで一つの立場としてフォーラムに参加する。言いあってもよい。きちんと持ち帰ることが条件だが)</p>	<p>「地域フォーラム」は、様々な団体が参加することがコミュニティづくり・まちづくりに大切であると考えており、その中で行政も必要により参加できると考えております。</p>

29	行政の最大の支援は、活動の広報、情報発信の場の提供ではないかと考える。	実施計画 2-1「情報提供の充実」において、支援の充実を図ります。
30	「我が子が安全に過ごせるための地域を求める」の「地域」とは、その後ろの「地域に入っていく」の「地域」のレベル感がつかめないのですが、前者は、公園や〇123を指すのであれば、場（所）でいいのではないか？	地域とは、場ではなく、生活エリアであると考えています。
31	「我が子が安全に過ごせるための地域を求める」行動が、「地域に入っていくスタート」「地域・社会とつながるきっかけ」とは思うが、それが市民活動への意欲にまでつながるかということそこには飛躍があるように思います。求めた際になかなか見つからず、誰かの手を借りたということなら、それが「自分も」という意欲につながる可能性はあると思うが、もっといい例はないか。	ご指摘のとおりであり、文章を変更しました。
32	全体として、コーディネート機能とコーディネーターの用語の使い分けがわかりにくい。	コーディネーターとして、特定の人物を配置するものではないことから、全体の表現を、コーディネート機能という表現に変更しました。
33	P 8 の 6 行目で、「…連携・協働におけるコーディネーターの役割を含め、コーディネート機能の重要が…」とありますが、意味的にはコーディネート機能 > コーディネーターということでしょうか？（ここでは、コーディネート機能を担う人がコーディネーターではないと読めるのですがそれでいいか？とすると、コーディネート機能には「コーディネーターの求められる力量」のほかになのかがあるのか？コーディネーターを発掘、育成すること？）	ご指摘のとおりであり、文章を変更しました。

34	<p>公的な機関のコーディネート機能はその職員がコーディネーターとして業務にあたるというのは理解できますが、地域コミュニティにおけるコーディネート機能の担い手もコーディネーターと呼んでいるのでしょうか？</p>	<p>本計画では、特定の人をコーディネーターとして配置するものではないと考えており、コーディネーターとは呼ぶことは考えていません。</p>
35	<p>地域にはコーディネーター的な存在はたくさんいらっしゃると思いますが、そのような方々を言っているとすれば、事実上コーディネーターだとしても、おそらく本人たちはそう思っていないので、それは言い過ぎではないか。</p>	<p>32でも示したとおり、コミュニティー協議会の個人の方を指して、コーディネーターと表現しているわけではなく、地域の様々な知識・経験を有しているコミュニティ協議会の方たちが集まって運営されているコミュニティセンターのコーディネート機能について示しております。</p>
36	<p>また、その地域の「コーディネーター」に「5つの力量」を求めるはハードルが高いのではないかと？複数の「コーディネーター」が補完し合いながらその役割を發揮していくという考え方もあるのではないかと？</p>	<p>特定の人をコーディネーターとして配置するという考えではないため、必ずしも特定の人や組織がすべての力量を備えているということではなく、複数の人や組織が協力して全体としてコーディネート機能を發揮していくことが必要であると考えています。</p>
37	<p>施策として具体的に何をするのがわからない。具体的な事業を記載できないか。たとえば、① コミセンが「つながる場としてコーディネート機能の強化・充実を図る」ために市は何をするのか？</p>	<p>具体化に向けて、コミュニティ研究連絡会と検討していきます。</p>
38	<p>市、プレイス、市民社協の3者が「…連携し、地域の枠を超えてコーディネートを行う機能の強化を図る」ために何をするのが大事はないか。また、今の何を強化するのか？</p>	<p>「市民活動はじめて月間」（市、プレイス、市民社協（ボランティアセンター武蔵野）がそれぞれ行う事業を一体的に広報）という、新たな事業を実施するなど、3者による連携を強化しており、今後も情報共有を図り、役割分担を明確にしなが、様々な支援を行っていきます。</p>

39	<p>「市民活動のきっかけづくり」については、取り組んでいる主体に「市民活動の場の利用促進」「課題解決のための「連携と協働」の推進」が記載されているが、ここではあまり力を入れていないと思われ、どの段階でどのように進められているのか、具体的でなく可視化されているようには感じられない。</p>	<p>実施計画 1-1「市民活動のきっかけづくり」を重点施策として位置付けており、推進していきます。</p>
40	<p>「市民活動の促進と自律・自立に向けた支援の充実」については「プレイス」を挙げて、促進を図るとしているが、基本計画では、「市民協働サロン」と共に「市民活動団体の交流機会の提供」や「市民活動団体の情報の提供窓口機能」とあり、「市民協働サロン」の廃止一体化が市民にきちんと周知されていない。一方で、相談件数は「年々武蔵野プレイスの相談件数が減少しており」「今後、相談業務を行っていることを広く周知する必要があると思われる」とあるが、その実態は「周知不足」なのか。</p>	<p>プレイスの利用者に対するアンケート等の精査を行うとともに、相談窓口機能のPRを行うなど、相談しやすい環境づくりを推進していきます。</p>
41	<p>市民活動の特徴はその多様性にあり、一律の施策では十分な成果を上げられない場合があるため、ステージを想定し、これに該当する団体又は予備軍への支援を明確にすることにある。特に「活動萌芽」、「活動実践」の段階ではその支援はコーディネータに広い知識と、経験が求められる。そのステージでの支援こそが、今後の活動促進の中心になるものだ。</p>	<p>実施計画 3-1. 「武蔵野プレイスの有効活用」による支援や様々な学びの機会の提供により支援していきます。</p>
42	<p>「コミュニケーション力」「調整力」「創造性・企画力」「地域を良く知っている」「リスクマネジメント力」のすべての要素を備えた、コーディネーターは極めて少ないのではないかと。また学びでも獲得できるか否かは未知数である。育てる為にどれだけの資源の投入が必要か。</p>	<p>26. 36. で述べたとおり、特定の人をコーディネーターとして配置するという考えではないため、必ずしも特定の人や組織がすべての力量を備えているということではなく、複数の人や組織が協力して全体としてコーディネート機能を発揮していくことが必要であると考えています。</p>

43	複数の人材をマネジメントする能力を持った人材による、総合コーディネータのような仕組みがあり、いわばコーディネータのコーディネータというべきものだ。その実践により、育成にもつながることを期待する。	コーディネーターのコーディネーターについては、委員会に置いても議論されたところであり、今後検討していきます。
44	活動促進のために最も必要とされるものは、特に「活動萌芽」、「活動実践」の段階で求められるスキルである。「きっかけづくり」という言葉が出てくるが、具体的な手順や経験談、発想力の育成など、一般社会では、開発訓練や研修を経験したことのある方には理解される、「力を引き出す」スキルアップを経たことで備わる、導きの力の獲得など、相談者には高いスキルが求められる。この点を今後どのようにしていくのかだ。	実施計画 2-6 ③「コーディネート機能を担う人材の発掘・育成」において、コーディネート機能を担う人材の育成方法を検討・実施していきます。
45	全体を通して、これだというインパクトが見受けられない。何度も同じような抽象的表現で使われている。提言なのでやむを得ない部分もあるが、「タイトル」や「表現」が平明に流れて、これで活動が促進されるだろうという思いになれない。5年を経過して具体的なステップと見通しなど、実現に結びつくと思わされる計画に感じられない。相談態勢、支援態勢、コーディネータも含めて、具体的なステージごとへの取組が明確化された時、今後の展開が期待できると考える。	現計画の目的や理念などは踏襲しつつ、コーディネート機能やコミュニティ、学びの機会の必要性などについて記載しており、より地域としての市民活動促進を推進していくとともに、実施計画についても、重点施策を位置付けており、より一層推進していきます。